

# 2022.6.5-補足動画資料（罫線資料版）



## 2022.6.30 – 半期値洗い実施→修正・反省

### 2022年相場後半、新たな気持ちでスタート

#### 月末に「値洗い」をする

「値洗い」とは、言い換えれば「時価会計」のことである。賢者は、損益や時価評価を帳簿につけて管理をするという行動癖を持つ。几帳面なのだ。愚者はそれを怠る。

ルイ14世は人生の前半は財政を無視する残虐な暴君として知られたが、後半は賢帝であったと言われている。どこで変わったか。後半は、彼は絶えず帳簿を持ち歩き、今で言う財務省と相談しながら国家財政をにらんでいたのだ。「帳簿王」などというあだ名をつけられていたという話もある。

また中近世、世界の巨富を集めたベネチアで複式簿記が発明された。ベネチアは複式簿記で企業のように国家を運営したというが、大商人たちの間では、「まともな商人であれば、簿記のインクで指先が汚れていなければならない」という格言があったそうだ。こういうことは、いずれもズボラではできない。ズボラな者は市場のゲームに向かない。筆者が現職時代、先輩がよく言っていた。「小利口じゃできない、バカにはできない、ズボラな奴にはなおできない」と。

よく、株評論家や解説者や証券マンが、「買値を忘れる」などと言う。彼らは人のカネだから気軽にそういうことを言う。自分のカネで買ったら、買値のことをそう簡単に忘れられるものではない。

賢者に特有な、また共通する一つの行動癖は、「値洗い」という習慣だ。

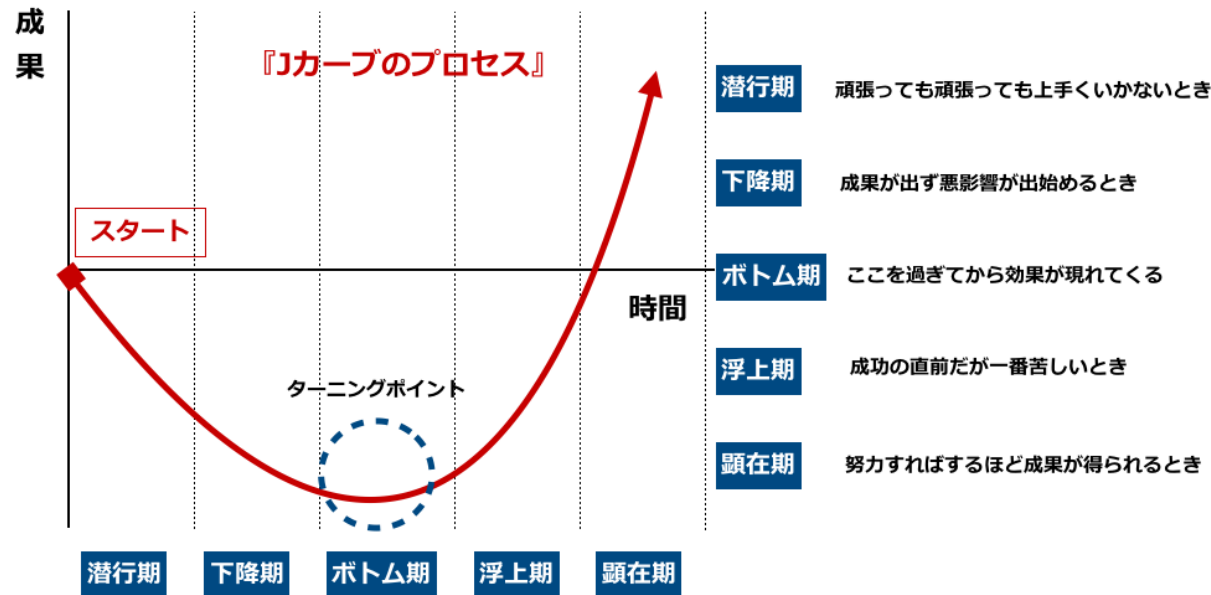
通常は1か月に一度、四半期に一度、あるいは長期投資の場合は半年に一度、などと決めておかなければならない。その日の終値をもって自分の買値とする。そして評価損が出たらそれは実現損として考え、資産リストから除外する。つまり損金積立金のようなものである。評価益が出たならば、実現益として資産リストに加算する。これを「値洗い」と言う。聞き慣れないかもしれないが、標準語である。

たとえば、ある月の末、その終値をもって新たな買値とする。したがって当月末の終値が安ければ、値洗い以降は安く買った資産に対する評価益が生まれる。当月末の終値が高ければ評価益が生まれ、実現益とみなされるが、高く買った資産だということになるから評価損が生まれやすくなる。買値を忘れるということは現実的にはできないから、このようにして買値を洗い直すのだ。

この習慣を行動癖とする。時期をあらかじめ決めておくことが大事である。時期を決めずに、意図的に高くなったときに値洗いして評価益を出して喜ぶとか、

**【予定カリキュラム】**

1. 資金管理・目標設定・市場サイクル（景気循環）
2. 大勢下限月足・対数チャートの見方
3. 時間軸（日足・週足・月足）別チャートの見方
4. 需給の見方－「需給に勝る材料はなし」
5. 大通り銘柄－01銘柄を把握
6. 実践-利益確定方法「つなぎ売り」など

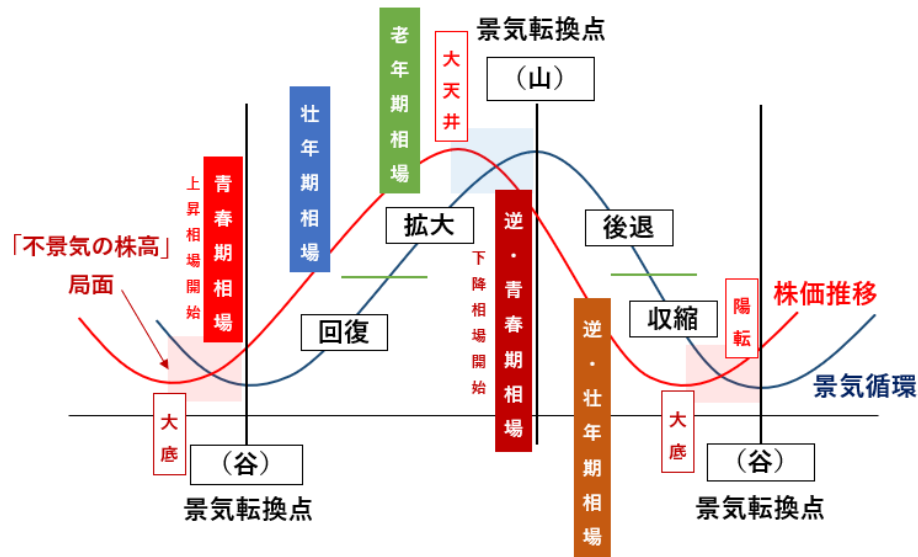


**■ 月足・対数チャートの重要性（買い水準の精度を高める）**

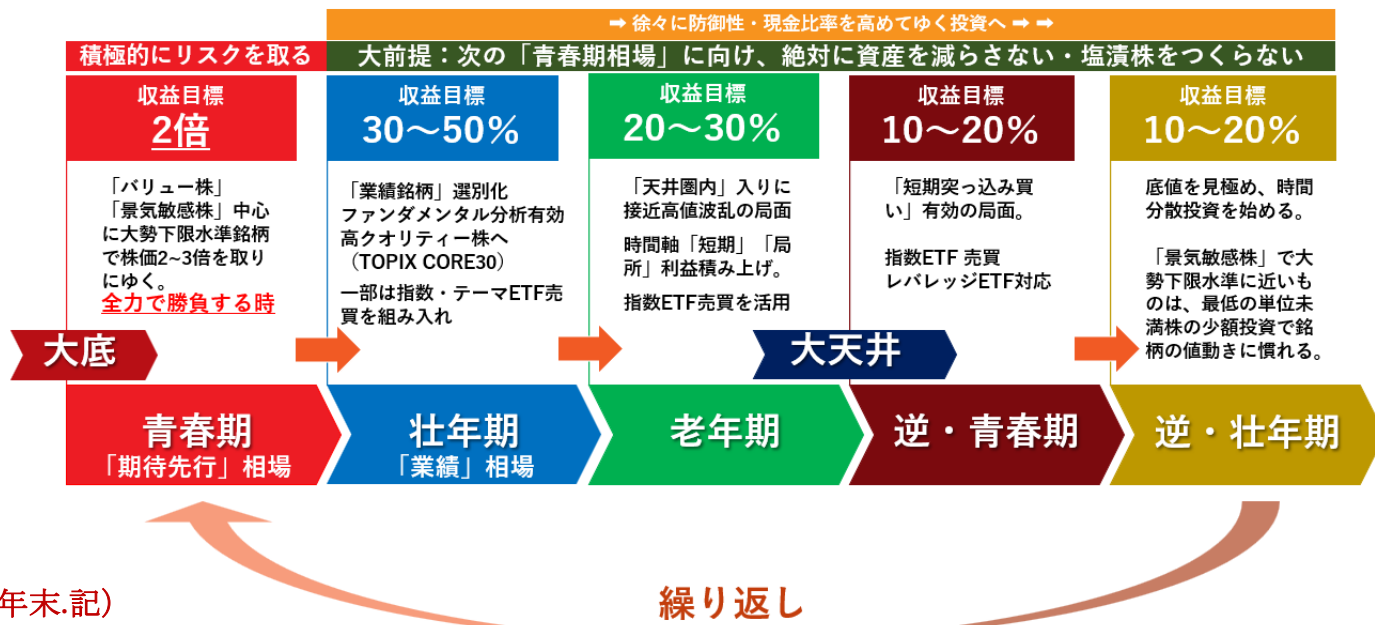


# 【2022年の収益目標】 現在は、既に「逆・青春期相場」に位置している可能性にあることに注意

－ 「相場局面」と 「景気循環」 －



## 市場サイクルを極める (再現性のある投資)



### ■ 2022年相場との対峙で意識していること (\*2021年末.記)

- 「局所 (時間軸設定) を捉えて利益を積み上げる」こと
- 「修正・損切りの実行力」
- 「利喰い千人力」 (欲を抑える力)
- 「短期の突っ込み」での行動力、またそれを実行できる為の資金管理能力
- 「醒めた目で相場を眺める」 (振らされる側でなく、見極める側に)

## ■5月アノマリー・傾向

・5月中旬に3月期通期決算 出揃う

・「Sell in May and go away.

But remember come back in September.」

\* **「Sell in May and go away.**

**But remember come back in September.」**

米国市場は例年6月～9月にかけてやや頭が重くなる傾向があることから、「**株価の高い5月中**に売り抜けてどこかへ出かける」という意味。**5月が下落する**ということではない。

「But remember come back in September (9月に再び市場に戻ってくることを忘れるな)」という続きが重要で、**株価が年末高傾向の起点となる9月頃の安値時**に再び市場に戻ってくることを忘れないように、としている。

### －事前の警戒イベント－

■ 5/4(水) FOMC

→結果：0.5%利上げ・QTは6月から実施

■ 5/9(月)14時 ロシア・対独戦勝記念日

→「戦争宣言」なし

■ 5/11(水) 米国4月CPI→結果：8.3%

### －実際の動き－

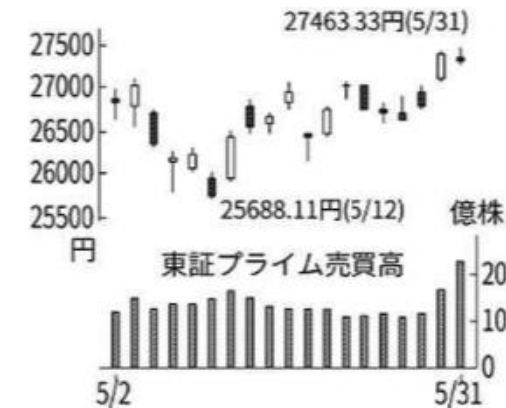
■2022年5月－日経平均 月間+431円(1.6%)上昇

・13日ワッションSQ通過・決算発表一巡、以降の日経平均は27000円水準突破を窺うギリ高傾向で、米国市場のNYダウの8週連続安（1930年代以来）からの反発を受けて27000円台回復。

・個別では、**23日の日米首脳会談を控え、防衛費増額期待で防衛関連の三菱重工・IHI・川崎重工などが騰勢加速。**

日本政府の外国人観光客の受け入れ再開方針（6月10日）を受け、インバウンド銘柄が堅調。

### 5月の日経平均株価（日足）



**5** 2022  
May

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
<b>1</b> 新月	<b>2</b> ▲29 三井物産 米-ISM	<b>3</b> 憲法記念日	<b>4</b> みどりの日	<b>5</b> こどもの日	<b>6</b> +185 JFE・丸紅 米-雇用統計	<b>7</b> 週間 +155 +0.6%
<b>8</b>	<b>9</b> ▲684 郵船・川崎汽 ロシア・対独戦勝記念日	<b>10</b> ▲152 パナソニック・日本製鉄 住友鋳・IHI・川重 任天堂・三菱自	<b>11</b> +46 トヨタ・INPEX・TDK 三井金・パナソニック 4月米CPI	<b>12</b> ▲464 ソフトバンク・NTT 東京エレクトロ・SUMCO 三菱重・三菱地所	<b>13</b> +673 SQ 三井住友FG・みずほFG 東レ・住友化・三井化 三越伊勢丹・三菱	<b>14</b> 週間 ▲575 ▲2.1%
<b>15</b>	<b>16</b> +119 満月 三菱UFJ リクルート	<b>17</b> +112	<b>18</b> +251	<b>19</b> ▲508 アライド・マリシアズ	<b>20</b> +336 東京海上	<b>21</b> 週間 +311 +1.1%
<b>22</b> *パイン大統領来日	<b>23</b> +262 日米首脳会談	<b>24</b> ▲253 QUAD Leaders Meeting Tokyo2022 クアッド 首脳会合	<b>25</b> ▲70 エヌビディア FOMC議事録	<b>26</b> ▲72 アリババ	<b>27</b> +176	<b>28</b> 週間 +42 +0.1%
<b>29</b> *新潟県知事選 投開票	<b>30</b> +587 新月 *米国休場	<b>31</b> ▲89	<b>1</b> 米-ISM	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>

「政策に売りなし」「国策に売りなし」 - 5月23日日米首脳会談・24日クアッド首脳会合に向けて騰勢を強めた防衛関連 銘柄群 -



## ■6月アノマリー・傾向

- ・「月末」の勝率高い - 株価上昇(1976年以降で勝率70%)
- ・「七夕天井」(7月初旬に天井)が7月近くから意識される

### \* 「6月月末高」の需給要因

国家公務員のボーナス支給

: 毎年6月30日・12月10日 (法律で定められている)

### \* 「七夕天井」の需給要因

・民間企業のボーナス支給は、6月中旬～7月上旬。

・7月は国内ETFの決算シーズン  
分配金支払い基準日(株式配当でいう権利付き最終日)が7月前半にある。

### —事前の警戒事項—

■ 6/10(水) 米国5月CPI ⇒ 前回4月: 8.3%

■ 6/15(水) FOMC

⇒ 前回: 0.5%利上げ・QTは6月から実施

2022.5							2022.7						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	3	4	5	6	7	8	9
8	9	10	11	12	13	14	10	11	12	13	14	15	16
15	16	17	18	19	20	21	17	18	19	20	21	22	23
22	23	24	25	26	27	28	24	25	26	27	28	29	30
29	30	31					31						

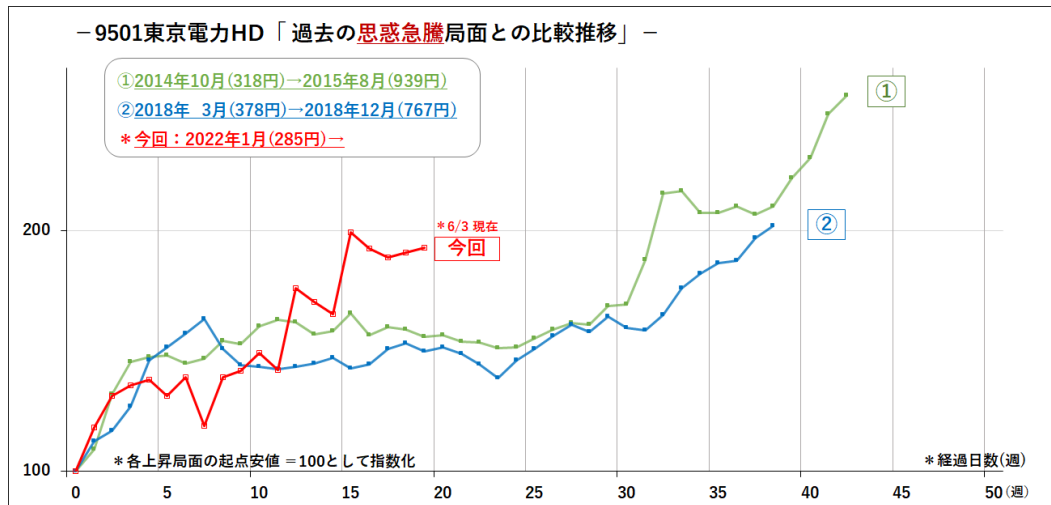
# 6 2022

## June

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
29 *新潟県知事選 投開票	30 +587 新月 *米国休場	31 ▲89	1 +178 米-ISM	2 ▲44	3 +347 米-雇用統計	4 週間 +979 +3.6%
5	6	7	8 *OECD経済見通し SQ 魔の水曜日	9	10 5月米CPI M-SQ	11
12 ロアの日	13	14 満月	15 *パウエルFRB議長 経済見通し発表	16 日銀金融政策決定会合	17 *黒田日銀総裁会見	18
19	20	21	22 *参議院選・公示日 7.10投票日	23	24	25
26	27	28	29 新月	30	1	2

# 「国策銘柄」 9501東京電力HD – 「需給に勝る材料なし」

**\* 需給悪化傾向**



日付	信用売り残(株)	信用買い残(株)	売り残増減(株)	買い残増減(株)	信用倍率(倍)
2022/05/27	13,028,200	38,495,700	-2,004,800	3,168,700	2.9
2022/05/20	15,033,000	35,327,000	-731,500	6,621,000	2.3
2022/05/13	15,764,500	28,706,000	2,971,400	-2,570,100	1.8
2022/04/28	12,793,100	31,276,100	-3,405,500	-1,155,700	2.4
2022/04/22	16,198,600	32,431,800	507,700	6,659,300	2.0
2022/04/15	15,690,900	25,772,500		1,385,300	1.6
2022/04/08	6,964,800	24,387,200	-557,700	1,295,900	3.5
2022/04/01	7,522,500	23,091,300	1,075,600	-1,761,600	3.0
2022/03/25	6,446,900	24,852,900	1,683,800	1,635,400	3.8
2022/03/18	4,763,100	23,217,500	936,800	163,100	4.8
2022/03/11	3,826,300	23,054,400	-4,134,300	263,700	6.0
2022/03/04	7,960,600	22,790,700	637,500	1,327,200	2.8
2022/02/25	7,323,100	21,463,500	-1,140,000	7,000	2.9
2022/02/18	8,463,100	21,456,500	1,199,500	-1,829,700	2.5
2022/02/10	7,263,600	23,286,200	1,013,300	-1,626,000	3.2
2022/02/04	6,250,300	24,912,200	2,982,400	-5,729,000	3.9
2022/01/28	3,267,900	30,641,200	1,705,400	-9,506,300	9.3
2022/01/21	1,562,500	40,147,500	557,900	-1,941,400	25.6
2022/01/14	1,004,600	42,088,900	198,600	274,800	41.8
2022/01/07	806,000	41,814,100	-251,900	1,391,100	51.8
2021/12/30	1,057,900	40,423,000		-1,094,200	38.2

**\* 好需給銘柄に**

**\* 需給悪化銘柄**

